

# PTAの軌跡

## 前 史

新教育制度が発足した昭和二十二年、アメリカ教育使節団の勧告を受け、文部省は各県に「父母と先生の会」結成を勧奨する通達を出すとともに、結成促進のための積極的な指導奨励をおこなった。そして、昭和二十三年四月に新制秋田県立能代南高等学校としてスタートした本校も、翌昭和二十四年四月に「PTA」が創立された。戦前までの財政的に学校を後援する「父兄会」にかわり、「父母と教職員相互の連携を密にし、本校教育の充実・発展を図ることを目的とする」社会教育関係団体の誕生である。結成当時の会費は五十円、他に設備費百円、薪炭費が半年五十円であった。

その後、昭和四十二年に体育後援会、昭和五十二年に文化後援会、昭和六十年には教育振興会がつけられ、父母と教職員の協力体制が一層整った。

|     |                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 四月  | 能代高等学校PTA事業計画（平成十七年度）<br>四会（PTA・体育後援会・文化後援会・教育振興会）入会式<br>各学年朝学習開始<br>四会役員会・会計監査<br>PTA進路講演会                                                                       |
| 五月  | 四会総会・各学年部PTA<br>地区PTA代表者会議<br>秋田県高等学校PTA連合会定時総会<br>PTA・体育後援会・文化後援会 役員会<br>能代山本地区高等学校PTA連絡協議会<br>各学年部PTA（授業参観・各学年部の課題・保護者面談等）<br>地区PTA（学校説明、保護者面談等）<br>七月中旬<br>能高祭 |
| 六月  | 東北地区高P連大会<br>PTA会報発行<br>全国高P連大会<br>十里強歩<br>創立八十周年記念式典<br>芸術教室                                                                                                     |
| 七月  | 秋田県高P連東北地区交流大会<br>県高P連母親会員交流会<br>県高P連正副会長会議<br>四会役員会・会計監査<br>PTA会報発行<br>卒業式・卒業祝賀会<br>各学年部 学年共通費会計監査                                                               |
| 八月  |                                                                                                                                                                   |
| 九月  |                                                                                                                                                                   |
| 十月  |                                                                                                                                                                   |
| 十一月 |                                                                                                                                                                   |
| 十二月 |                                                                                                                                                                   |
| 三月  |                                                                                                                                                                   |

## PTA活動の十年

### 【四会総会】

四会総会の開催により、入学式後のPTA等四会入会式でむかえた新会員とともに、本校PTAは新年度のスタートをきる。

総会については、永年にわたり、その内容や参加者数の確保が課題となっていた。また、このことは本校PTAのみならず、多くの各校PTAがかかえる課題であり、機会あるごとに情報交換がかわされている。本校PTAとしては、平成十六年度には、学年PTAのあと四会総会を実施し、学年PTAへの参加者が総会にも参加できるように試みた。また、平成十七年度は、今まで七月に行っていたPTA進路講演会を総会当日に実施したり、事前に総会資料を配付し、時間の短縮を図った結果、参加者はほぼ倍増した。

### 【地区PTA】

平成五年度に、市内七地区が能代市内合同地区として合併し、十一地区での開催となり現在にいたる。前後に学年PTAや保護者面談週間があり、担任はこの時期に必ずすべての保護者と面談をする、という目標は引き継がれている。学校側の現状報告、学年別話し合い、個人面談など短い時間ながら充実した

父母と教師の情報交換と親睦の機会となっている。

#### 【学年PTA】

近年は、各学年とも年二回の開催となっている。第二回学年PTAは、一学年と三学年は地区PTAにあわせた六月に、二学年は修学旅行にかわり九月に開催している。この第二回学年PTAで、平成五年からPTA前に実施している授業参観は、普段めつたにみることでできない高校の授業の様子を保護者に公開し、好評を得ている。

#### 【PTA進路講演会】

永年にわたり開催している本校PTAの伝統行事である。外部講師を依頼し「進学志望の子どもを持つ親の心構え」をテーマに講話をいただいている。受験産業界に勤める経験豊富な講師から、大学・受験に関する時宜を得た情報提供や、都市部で学業に励む高校生の現状を、参加者は大きな刺激を受けながら拝聴している。

平成十六年度までは、六・七月の平日夜に実施していたこの講演会を、平成十七年度は四会総会に先立ち四月に実施した。

#### 【学校行事への協力】

平成五年度から自由参加で始まった朝学習

は、保護者の理解と協力により、すべての生徒が始業前の二十分間を学習活動にあてる体制が整った。

また、能高祭へは多くの保護者が来校し、生徒とともに楽しみながら、生徒が自主的につくる祭に温かい励ましをおくっている。

さらに、伝統行事十里強歩大会では、地区ごとに数度の打ち合わせ会議を開催し、当日の安全管理や関門の設置、補食の提供などに心を込めた協力をしている。

#### 【能代山本地区高等学校PTA連絡協議会】

秋田県高等学校PTA連合会が、その事業を円滑に行うために、県内十地区に設置する地区協議会である。当地区は六高等学校で組織されており、近年は年一度協議会を開催し、各校PTA活動の現状や課題を情報交換するとともに、PTA役員・会員同士の親睦を深めている。本校PTAは、この十年では平成八年度と十四年度に幹事校として、協議会運営に尽力した。

#### 【県北地区高等学校PTA交流大会】

秋田県高等学校PTA連合会活動の中で最も重要な活動と位置づけられている交流大会は、全県を三地区にわけ実施されている。「高校生の健全育成を図るため、PTAはどのような学習活動や実践活動を進めたらよいか」

という研究主題は平成二年から一貫したテーマとなっている。

本校PTAは、平成十三年九月二十八日（金）、平安閣において行われたこの大会において、事務局を担当し、主管である能代山本地区高等学校PTA連絡協議会の中心的役割を果たした。校の聖母短期大学講師二瓶由美子氏の講演や、能代山本地区五校の独創的なテーマ・内容による分科会は好評を博した。

#### 【全国高等学校PTA連合会団体表彰】

平成十四年八月二十一日、本校PTAは第五十二回全国高等学校PTA連合会大会旭川大会において団体表彰を受賞した。表彰事由は次のとおりである。

生徒の通学圏が広域におよんでいるため、毎年六・七月に十一地区で地区PTAを開催し、地域に応じて、父母と教職員の連携を深め、生徒の健全育成に大きな成果を上げている。

また、伝統行事である十里強歩大会においては、深夜にもかかわらず、生徒のコース上での安全確保や、補食の提供などのボランティアに、会員が全面的に協力をし、大会を側面から支えている。

さらに、平成十三年九月二十八日に行われた秋田県高等学校PTA連合会県北地区交流大会は、事務局として大会運営にあたり、能代山本地区高等学校PTA連絡協議会各校との連携をとりながら、有意義な講演や分科会を実施し、県北地区約二百七十名の参加者の交流を大いに深めた。

昭和五十八年に続き、二度目の全国表彰である。



【第五十六回全国高等学校PTA連合会大会  
秋田大会】

平成十八年八月に開催されるこの大会の特別第二分科会は、能代市文化会館が会場となり、本校PTAが主管する。平成十七年度から準備が本格化し、実行委員会参加や長野大会視察を行い、全国から約一万名の参加者の受け入れに力を尽くしている。



長野大会視察

## そのとき

平成六〇九年度PTA会長  
大塚 和行

そのかみはるか域闊く……。昭和三十九年四月の入学以来、何かにつけて口ずさむ校歌は、重厚な響きのメロデーが心を躍らせ、『奮え松陵我が健児』の歌詞に叱咤激励され、いつしか私の心の歌となりました。

娘が入学した平成四年には、硬式野球部が甲子園で勝利し、憧れの球場で校歌を謳いあげ、感激のひとつもありました。

平成六年にPTA会長を仰せつかり、卒業式等に出席する機会が多くなりました。生徒の皆さんの成長と将来の飛躍を願いながら校歌を斉唱するときには、何ともいぬ興奮を感じたものです。この年は、学校と保護者の一体感が強力で、各種行事が盛り上がり、なかでも卒業祝賀会の参加者数は記録を打ち立てました。大学進学でも好成績を挙げ、国公立の合格者数は過去最高を記録しました。

息子が入学した平成七年は創立七十周年にあたり、前々年から教職員、同窓会、PTAが丸となり相互協力の基に準備してきた周年事業の実行年でありました。四月からの学校行事は、創立七十周年の冠つきで実施され、また図書館や視聴覚室、体育館等の学習環境

も整備されました。教育目標である克己誠実、自発学習、部活精励を強力に推し進めるための事業であります。

そして迎えた平成七年九月二十二日。穏やかな秋晴れのもと、能代市文化会館を会場に、創立七十周年記念式典が開催されました。先人が営々と築き上げられた伝統を更に引き継ぐとともに、新たな歴史を創り上げる決意のもとに校歌の斉唱が行われました。次世代を担う人材の育成と相互の活躍を願う歌の響きには感動を覚えました。

同窓生、地域の方々と共に歩む能代高等学校が、これからも人材の育成に貢献されることを願うものであります。

『奮え松陵我が健児』

## ごくろうさんです

平成十一年度PTA会長  
金谷 久弥

能代高校、創立八十周年、おめでとうございます。心より、お祝いを申し上げます。

PTA会長を努めさせて頂いた、二年間を想い起こして見ますと、当時の様々な出来事が、懐かしく脳裏に浮かんで参ります。特に印象深く想い出されるのは、諸会議後の二次

会です。いつも、スタッフの殆ど全員が出席され、その盛会さには、時の校長先生も驚く程でした。本当に、すばらしいスタッフに支えてもらいながら、多くの皆様のご協力により、何とか無事に各事業を遂行することが出来、今更ながら、深く感謝いたします。

PTAの最も重要な行事は、伝統の十里強歩です。その際の、子供達からの言葉「ごくろうさんです」——この言葉に一番の感動を覚え、能代高校に子を持つ親で良かったと、つくづく思いました。十里強歩のコースも終盤、汗をかき、足下もフラフラになりながら早朝のコースを、子供達が次々と通過して行きます。親達は、コースの所々に配置しながら、子供達を見守り、そして励まし続けます。「もう少し、頑張れ！」すると、子供達からしっかりと返って来るのが、「ごくろうさんです」の言葉です。午前0時スタートの十里強歩、学校、子供、親が一緒になっての、夜を徹してのこの行事、朝もやの中、実にはさすがしく、心地良い光景を、そこに見ることが出来ました。時代が移り変わっても、十里強歩は、是非、継続して欲しいものです。そして、子供達には、いつまでもこの気持ちと体験を大切に、次なるそれぞれの道を、たくましく歩んで頂きたいと思います。

能代高校の、更なる飛躍と発展を、心から祈念申し上げます。

## アナログとデジタル進化

平成十二・十三年度PTA会長

佐々木 弘

団塊世代には四歳不足の昭和二十八年生まれの私、記憶を三十五年前にリセット。当時の私は高校二年生、修学旅行で大阪万国博に行き、「月の石」を見た。田舎はまだ百円札が主流、都会は百円硬貨、新幹線の車内販売で売り娘さんと「札と硬貨を」交換して喜んだモロ田舎者でした。世界の壁も厚かった。『米国は、アポロ計画で月面着陸——証拠品に（月の石）を』。『日本は、まだ国産旅客機がYS11だけの時代だった。私の卒業アルバムも、モノクロ・セピア色。世の全てが「アナログ式」で、「デジタルって何？」だったのである。

そんな年に「伝統の十里強歩」が復活した。生徒は必ず「洗札」を受け、「辛苦の度合い」を「巨濤」に綴って大事に後輩に伝えている。読めば必ず共鳴する。総じてそれは、母校の「共有財産」卒業の「関所」と認識されているようだ。これは、アナログのまま残しておきたい。

P役員T職員に恵まれ、私は十二・十三年度を乗り切ることが出来た。行事を順調にこなし問題は無かったと思う。が、唯一気がか

りだった事象がある。それは、全校的に「論議的」となった「携帯電話の是非」についての「見解」が割れ、結論が先延ばしになった事。メリットとデメリットが交錯し、生徒を説得する理由・保護者を納得させる言葉が見つからなかった。生徒は「携帯の活用術」を次々にマスターしてスキルを上げた。アナログからデジタルへの切り替えが柔軟な若者と「脱皮の遅い大人」との「進化度の違い」には、ずっと驚嘆させられている私、進化は止まることを知らない。

今、若者たちがグローバルに活躍している。卒業式の祝辞で引用した松井秀樹・イチロー・高橋大斗は、益々健在だ。彼らの挑戦と飛躍は、後続の若者に夢と希望を与えている。最近では、ライブドアの堀江貴文・テニスのシヤラポアやゴルフの宮里藍から目が離せない。「夢」は叶える為にある。混迷は続くが、「成りたい自分」を見つけ次に備えよう。

## 八十周年に寄せて

平成十四・十五年度PTA会長

能 登 信 一

能代高等学校が創立八十周年を迎えられましたことを、樽子山校舎の最後の卒業生とし

て、現校舎に子供達がお世話になった保護者として、心よりお喜び申し上げます。

一口に八十周年と申ししましても、歴代校長先生を始め諸先生、保護者の皆様、同窓会のご協力により今日の能代高校の歴史が刻まれてきたと深く感銘を受けている次第でございます。私自身、子供達がお世話になった平成十一年から三年間体育後援会長、平成十四年から二年間PTA会長として、多くのPTA会員のご協力により大役を無事終えることが出来ました。この場をお借りしましてお礼と感謝申し上げる次第でございます。

今、時代は様々なことが大きなうねりを生み、怒濤の流れを起動しております。こういう時代において新たな道を切り拓いて行きながら、目まぐるしく変化する社会情勢の中で明確に目標を抱き、その達成に対して努力と意欲を失わない熱意こそが大事な時代であると思います。こういう時代に、生徒諸兄が勉強や部活動に励みやすい環境づくりをPTAとしてバックアップしていきたいと思い、諸先生と相協力して卒業の時に「笑顔で卒業して欲しい」を合言葉に活動してきました。

今、同窓生の皆さんは日本はもとより海外で大いに活躍しております。校風に誇りを持ち、能代高校での学びを「糧」として強い責任感と、チャレンジ精神を持って何事にも粘り強く努力した結果のあらわれだと思えます。

八十周年を迎えた節目の年に今一度成長の歴史を振り返り、学校の存在の意義、目的を明確にしなが、変化する時代に対応する高校教育を目指していきながら益々の発展をお祈りするとともに、同窓生として母校の八十周年を心よりお喜び申し上げお祝いの言葉と致します。

## 三位一体で躍進を

平成十六年度PTA会長

大 高 多恵男

秋田県立能代高等学校の創立八十周年を心よりお祝い申し上げます。

昭和五十年の三月に高埴の新校舎の最初の卒業生として巣立った私が、三十年弱の時を経て母校に関わりを持つとは、その時には夢にも思いませんでした。平成十四年に子供の入学と同時に、能登信一元PTA会長のお誘いがあり体育後援会をお引き受けすることとなりました。以後二年間務めた後に、PTA会長として務めさせて頂きました。多感な年頃に過ごした能代高校時代をもう一度迎える様に、子供と目線を同じくして過ごさせて頂きました。「十里強歩」や「能高祭」には参加する度に、自分の思い出が走馬灯のように甦

ってきました。特に、私たちの頃は私大の入学試験が卒業式と重なり、卒業式に出られない人がたくさんおりました。かくいう私も卒業式に出ていない一人であります。そのせいか卒業式に参加させて頂いた時の厳肅な気持ちと、緊張感はまるで自分の卒業式のような気持ちでした。これも、PTA役員をさせて頂いたお陰と感謝申し上げます。

PTA活動に関しては、本当に楽しい三年間でした。地区PTAでは、父兄の皆様と先生方、PTAが膝を交えて真剣に、子供たちの育成について話しあったり、地区独特のおもてなしを受けたりと、本当に充実した時を過ごさせて頂きました。PTA会長の時の私のスローガンは「三位一体」でありました。学校、PTA、地域が一体となつてこそ子供たちの健全な成長があるという意味でしたがこのことは、私が考えたことではなく、現役時代やPTAに関係してずっと感じていたことで、もともとそういう気風があったからであります。教育の環境が大きく変化する昨今、この気風だけは失うことなく受け継がれていくことと確信しております。

最後になりましたが、更なる躍進の歴史を積み重ね発展することを、親子共々同窓会の一員として心よりお祈りいたします。